

投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (藤井 嘉彦)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	2.5 億円
		通常砂防事業 相地川 <small>そうじ</small>		内用地補償費	0.1 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
養父市相地 <small>そうじ</small>			H21	H21	H24
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、家屋、道路等を土砂災害から保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 2基 (H = 9.0m, L = 50.0m) (H = 10.0m, L = 45.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(一)円山川水系八木川に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により溪岸の浸食が進み(最大2.0m)、転石も多数存在しているなど、流域の荒廃が進行している。 ・流域面積が3.06km ² と大きく、溪床には土砂が厚く堆積し、多量の土砂が流出する可能性があり、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約5ha(長さ900m、最大幅100m程度)に及ぶ。 ・ <u>人家10戸、相地公会堂(避難所)</u> ・ <u>県道大屋関宮線(約400m)、市道(約230m)</u>				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 ・平成20年度に土砂災害警戒区域を指定する予定であり、警戒避難体制を整備するなど、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。				
〔事業執行環境〕	・えん堤設置位置は県道大屋関宮線から直接寄りつくことが可能であるなど、事業執行環境は整っている。				
(3)環境適合性	・県道等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による掘削法面等については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・地元要望も強く、市の協力体制が整うなど、円滑な事業執行が可能。 以上より、H21年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

そうじがわ
相地川
[養父市]

計画概略図
縮尺 1:10,000

